

まちの日記帳



音楽の“楽しさ”伝える

美国中学校吹奏楽部定期演奏会

10/24

総合文化センターで美国中学校吹奏楽部（鈴木琴乃部長・部員14名）による定期演奏会が開催され、町内外から約150人が鑑賞に訪れました。

この日の演奏会は2部構成で、第1部では現3年生が札幌地区アンサンブルコンクールで銀賞を獲得した際に演奏した「LUNAR MARE」など5曲を披露し、第2部では「島唄」や「R. Y. U. S. E. I」等のポップス8曲を演奏し、来場者を沸かせました。また、演奏の合間には今年度で卒業する部員3人の紹介と花束の贈呈も行われ、感動を誘う場面もあり、14人が全力で練習の成果を発揮した演奏会は大盛況でした。



インターネットの問題点は 家庭教育講演会を開催

10/28

総合文化センターで家庭教育講演会が開催され、町内の児童・生徒の保護者等45名が参加しました。

今回の講演は、NPO法人IT技術国際交流協会副理事長の磯野爽氏を講師に迎え「ネット社会から子どもたちを守る」と題して、インターネットの普及の状況や、子どもたちの携帯電話所持率、SNSについてなど、子どもたちがインターネットを利用してどのようなことを行っているかについて説明があり、更に携帯電話を子どもに与える時期や契約方法、有害情報への対策方法など、保護者が悩む問題についてもアドバイスがあり、身近な問題の解説に保護者は熱心に耳を傾けていました。



これからの介護に活かす 介護者元気教室を実施

10/28

在宅介護をされている方同士で交流・意見交換を行い、心身をリフレッシュすることで在宅介護の継続を手助けする介護者元気教室が実施され、今回は留寿都町の地域密着型特別養護老人ホーム「るすつ銀河の杜」の見学を行いました。

この平成26年4月にオープンした「るすつ銀河の杜」は現在町内で来年4月のオープンを目指して建設工事が進められている施設と同様の運営方式の「地域密着型特別養護老人ホーム」で、施設の見学と施設職員の説明を受けながら、参加者は今後の積丹町での介護のあり方にイメージを膨らませていました。



新たな体験観光

積丹モニターツアーを実施

11/9

観光協会が実施する「積丹モニターツアー」に札幌市からの団体30名が参加し、町の新しい体験観光メニューを楽しみました。

この日はまず大覚寺でお念珠作りを体験。それぞれに好みの美しい石を組み合わせ、自分だけのお念珠を作る体験は好評を得ていました。その後は総合文化センターに会場を移し、握り寿司を体験。あらかじめ用意されたネタとシャリを用い、講師の菅野拓郎さんの説明を受けながら握り寿司を体験し、昼食として美味しく味わいました。

帰りは岬の湯しゃこたんで露天風呂から日本海の美しい眺めを堪能し、充実のモニターツアーを終えました。



健康な歯を維持するために 健口教室を実施

11/11

11/20

口腔機能の向上と栄養改善を目的に、町地域包括支援センターが主催する「健口教室」が11月11日に総合文化センター、20日に神岬会館の2会場それぞれ開催されました。

教室では、町立歯科診療所の尾立光先生と宮田かよこ栄養士（古平町）のご協力のもと、歯科検診や歯に関する相談が行われたほか、「寒い冬を乗り切る予防食」と題し、身体を温める食事の提案として、手作りイオン飲料や、高野豆腐、牛乳を“隠し味”にしたおかゆの試食などを行いました。

参加者は試食等を通じて会話を弾ませ、健康な歯の保持の意識を高めました。



読書の秋！

学校ブックフェスティバル事業を実施

11/17

美国小学校体育館で「学校ブックフェスティバル事業」が実施され、町内各小学校の児童が多様な本に触れる機会となりました。

この学校ブックフェスティバル事業は、北海道立図書館の蔵書の中から児童書・絵本約1,000冊を提供し、児童に読みたい本を自由に選んで借りてもらう事業で、この日は児童書やしかけ絵本、おはなし迷路等882冊の本が床に並べられました。普段本棚に並んでいる本も展示の仕方が変わると選ぶのが楽しくなる様子で、児童はそれぞれ関心のある本を自由に手に取っていました。

